

基本方針	施策	意見
1 より強靱で 安全な、 災害に強い 地域づくり	1 市民生活を支える 公共施設の強靱化	珠洲飯田港に「耐震補強岸壁」の整備や、輪島港マリンタウン岸壁と同規模の岸壁の整備を強く要望します。
	1 市民生活を支える 公共施設の強靱化	複数の高台津波避難所の強靱化。農業用水での小水力発電(騒音やメンテナンスコスト心配)。小型浄水装置。平時は有料屋内外ドローン練習場。 防災食育センター拠点と近くに公立中高一貫校。平時は給食センター、災害発生時は炊き出し・ヘリポート
	1 市民生活を支える 公共施設の強靱化	子どもたちの将来を考えたら、1箇所学校、保育園を集めてほしい。災害があったときにまとまっていると家族は安心なので。 住む場所も老後や今後のことを考えて、街や病院、スーパーの近くなどに集めてほしい。
	1 市民生活を支える 公共施設の強靱化	金沢-珠洲間を1時間半~2時間で行けるように道を立派に作ってほしいです。 次に地震がきたとき緊急車両や重機がすぐ駆けつけられるように、これが実現できなければ災害に強い県、災害に強い市とはいえないです。
	1 市民生活を支える 公共施設の強靱化	年間を通して楽しめる、珠洲まで足を伸ばしたくなるような道路や山にする。例えば10km位続く桜道や、見渡す限りあじさいだったりひまわりの畑やれんこん田にして蓮の花が楽しめる土地にする。蓮根のように収穫もできればなお良いと思う。
	2 災害に強い 地域づくりの推進	複合災害に対応した避難経路の見直しが必要です。
	4 危機管理対応の強 化	AI音声を利用したコミュニティラジオ開設など、ケーブルTVのみに頼らない情報発信を検討してほしい(上記と重複するが、ケーブルTVが復旧せず情報取得が困難だった)
	5 情報通信基盤の 強靱化	デジタル化を進めるのであれば、通信インフラの強化をしてほしい(中心部はNTTの光回線とケーブルTVを選択できるが、場所によってはケーブルTVしか使えず、発災時に情報が全く手に入らなかった)
2	1 暮らしと住まいの 再建	珠洲市に実家(非住)があり、定期的(週に1回)に珠洲で過ごしていたが、震災で実家に行っても日帰りになってしまった。観光需要を促進するのも大切であろうが、実家に帰省する人達の需要は相当あると考えられる。地元で生活する人達を優先に復興するのは当然であるが、実家に帰省するという若い世代の希望・要望・需要を全く聞き入れないという事は浅はかである。
	1 暮らしと住まいの 再建	市街地(野々江地区)に木造戸建ての仮設住宅を建築してほしい。若山地区は病院もスーパーも遠い。障害年金暮らしで急に車も買えない。
	1 暮らしと住まいの 再建	二地域居住について、県の復興骨子に推進する方向で記載されていると承知している。珠洲市としての取り組みについて考えていることがあれば示していただきたい。
	1 暮らしと住まいの 再建	正院地区は津波避難場所が土砂くずれで機能していません。また海岸沿いから従来の避難場所までは高齢者が徒歩で避難するのは困難です。 区画整理等でもう少し避難場所に近い場所を確保し、移転できるようにならないでしょうか?
	1 暮らしと住まいの 再建	飯田の街中に商店街を作り市内の飲食や商店を集めるべき。
	1 暮らしと住まいの 再建	後期高齢者は一人暮らしではなくグループホーム的な場所を設けて住ませてあげた方が孤独死などを回避できるのでは。グループホームを設立したらそこに雇用も生まれる。
	1 暮らしと住まいの 再建	新たな建物を建てるのではなく現在ある旧保育所などをリノベーションしたらよい。小学生も少ないので統合して空いた小学校を市営住宅にリノベーションし、住民に貸し出す。
	1 暮らしと住まいの 再建	5年先の珠洲市を想像した時に、自宅の再建が難しい高齢者や、コミュニティから外れた危険度の高い住まいに住み続ける方が多いと思うため、今回の震災で更地にした土地を市が買取、市営住宅を幾つか同じ区域で建て、ひとつの街として再建できれば、地域のコミュニティも維持できるし、市営住宅なら若い世代も入居するだろうし、枠をこえてコミュニティが維持できるし、祭礼などの交流も維持できると思う。
	1 暮らしと住まいの 再建	仮設住宅に申し込んでいますが、父も80すぎているので新しく家を建てるのは難しいです。永久型の木造の仮設住宅を建ててもらって、そこに入れたらいいなあと言っています
1 暮らしと住まいの 再建	更地に公営住宅を建設して頂けたらいいのですが。地区の方々と一生、長屋型公営住宅ならば無理があります。公営住宅を買うから一軒家を建設して欲しいのが本音です。	

ホームページによる意見募集の結果  
(7月16日時点)

暮らしとコミュニティの再建	1 暮らしと住まいの再建	土砂災害警戒区域内だと再建築できないので、新たな場所を提供するなり、補助してほしい。
	1 暮らしと住まいの再建	能登町、輪島市、穴水町と連携し復興計画を見直してください。20年後、30年後には合併も視野に入れ、若者が残りたいと思う街作りを考えて頂きたい。奥能登は、国から見捨てられていると感じています。スマートシティ(コンパクトシティ)の説明を、市民に理解して頂き、早急に動くべきと考えます。
	1 暮らしと住まいの再建	更地になった後がどの様に利用されるのか不安がある。羽咋市郊外の様に太陽光発電だらけの街になるのかもしれない。そうならない様な制度の制定を行ってほしい。
	3 子育て支援の更なる充実	専門医、医療スタッフの不足(産婦人科など)、今回の震災で、支える人材の流出は明らかだと思う。また、市民にとっても通える距離に専門医がない不安はあるし、若い世代が珠洲に残る決断をした時に、珠洲で出産できない事や、妊娠中に市街(輪島、七尾)まで何かあったら行かないといけないリスクが大きすぎる。珠洲市だけの問題ではなく、奥能登の課題として未来に繋がる、医療連携が取れないものだろうか？
	4 学びの環境の再建	小学校の統合について市長は地域には小学校が必要との考えでしたが生徒数が少なすぎます。人数が多い方が気の合う友達が出来やすいです。またコスト面でも統合する方が良いのではないのでしょうか？
	4 学びの環境の再建	子供たちのために早期に学校統合を行ってほしいです。子どもの人数が少ないと子供たちのやりたい部活動もできない。学校行事も人数が少なく何も楽しそうじゃない。授業も少人数で競うこともできない。統合しないなら子どもを連れて出ていくという意見がほぼ知り合い全員言っています。 鮎島小学校が無くなっても誰も困りません。もし高齢者が困るなど言うなら子どもを小学校に出している子育て世帯を優先してください。素人の考えですが、緑丘中学校を珠洲市小中学校などにするのも良いのではないかと という意見もありました。理由としては、立地的にも珠洲の中心で、教室数もあるので、うまく活用できないか？という子育て世帯の意見です。
	4 学びの環境の再建	珠洲の未来を担っていくのは、私たち中年や年寄りではなく若者たちです。 保育園児、小学校・中学校・高校・大学生などが主体となって復興の意見を出し、それを実行できるようにしなければ「ワクワクする復興計画」の実現は遠いと考えます。学校などで、子供たちが自由に夢を語る場、それを実現する場を作り、未来を担う若者たちが主体に復興計画を作り上げ、私たち中年や年寄りは、若者たちを意見を実現できるようにバックアップする体制としないと、若者は街に残らないと考えます。
	4 学びの環境の再建	学校の集約については通う子どもたちの学習環境を第一に考え、移動教室などで各地区を活用するなど、特色あるプログラムを検討してほしい。
3 生産性の向上を図るなりわいの再建	5 医療・福祉・介護予防の再構築	どこの福祉事業所もだが、人材不足は課題になっているし、ベテランはいても数年だが、これから担うのは、もっと若い世代だから、福祉事業に対しても医療同様に対策はするべき。病院管轄で福祉事業所があれば様々な点で連携ができるとおもう。
	6 観光産業の再建	能登らしい家並みの景観
4 これまでの取組を活かした魅力ある地域の再生	1 移住・定住の促進	SNSの活用は珠洲市の交流人口拡大に繋がると思います。目的は珠洲市のファン作り。神戸市のSNSアカウントの運用が非常に上手く、参考になると思います。 SNSにはそれぞれメリット・デメリットがありますが、神戸市の運用のように「市からは返信しない」などの運用方針を明記しておくことで、SNSの特性である「炎上」をある程度防げると思います。また運用には専属の担当者を設けるべきだと思います。
	1 移住・定住の促進	復興にあたっては交流人口や珠洲市への興味関心を薄れさせないことも重要になってきます。 そこで有名人などに依頼して広報PRをすることが有効だと思います。珠洲市の広報誌「広報すず」は芸能人の「広瀬すず」さんと類似しています。広瀬すずさんに依頼して広報すずの表紙および復興に向けてのメッセージをいただき、掲載することで話題となりSNSやメディアに注目される可能性があります。広瀬すずさんに限らず、珠洲市にゆかりのある有名人からの応援メッセージの広報掲載や今なら公式LINEで配信もできますので市民の活力向上のためご検討いただけると幸いです。
	2 芸術(アート)を活用した魅力づくり	復興計画が芸術祭中心では、移住者がふえず厳しいと思いました。